



# まつお 正秀のかから版

自宅 能登町 12 - 58 - 108 能登レックスマンション Tel・Fax73 - 0775

携帯 090 - 6960 - 4570 議員団控え室 Tel35 - 3368 Fax22 - 7815

西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログはアメーバブログ「まつお正秀の雑記帳」です

## 新名神高速道路工事橋げた落下で申入れ

### 西宮での住民や営業店舗などの被害対策で

売り上げ減は

死活問題の声も

4月22日16時27分

ごろ、新名神高速道路有馬川橋工事現場で、長さ124m重量約1350tの鋼鉄橋げたが、約15m下の国道176号線に落下しました。現場は神戸市ですが、一部通行止めの影響は迂回自動車が生活道路に流れ込み西宮でも事故の可能性が指摘されています。特に西宮側は営業されている店が多く売り上げ減の影響は深刻で、わが党の庄本市議や金田峰生党国会議員団事務局長が調査に入って現地の状況を把握。沿道の商店からは売り上げが4割も減っていつまで

もつかわからない、首を吊ろうかと思うときもあったなどの切実な声が寄せられました。

### 4項目を申し入れ

党議員団はこうした問題について5月17日、西宮市に4項目の申し入れを行いました。一部を次に紹介します **全文は議員団ホームページで。**

① 山口支所に生活や法律の相談窓口を設けること

② 倒産 廃業や解雇など

が起こらないよう、緊急のつなぎ融資などの支援策をとること。

③ 個人市民税や国民健康保険料の減免、徴収猶予などができるよう制度の周知、徹底を図ること

他に生活道路への車の流入対策、西日本高速鉄道(株)に対して事故原因の早期解明、二次被害防止や再発防止の徹底、被害を受けた事業者に対する損失補償と損害賠償なども。

すでに山口支所での説明会は開催されました。

### お詫びと訂正

前号5月号裏面記事で、上ヶ原地区の学校爆破予告事件で、甲陵中学校が広陵中学校となっておりました。お詫びして訂正いたします。



申入れをする党議員団 (右)

# 一年前の無所属議員ゼロから7名に

昨年は四年に一度の一斉地方選挙が戦われました。西宮では議員定数が42から41へ一名削減の中で60名が立候補という多数激戦でした。当選した議員は、議会の中では会派に所属しないと議会運営委員や重要なポストに就けないため、会派に所属、又は3名以上で会派結成に動きます。昨年6月には新たに「すべての西宮市民」維新の党議員団」がいずれも3名会派で出発し、無所属はゼロ。しかし、1年足らずの間に根本的な政策や意見の違いが出てきたのか、どちらも解散となり、維新の党議員団の一人は会派「ぜんしん」に転入しましたが、あとは無所属に。また「むの会」という3人会派も、病気で議会欠席が続いていた議員の辞職により解散。これによって異例の無所属議員7名で、今年の6月議会は始まります。

## 健康あれこれ 53回オーラル・フレイル

ちょっとした滑舌(かつぜつ)の悪さや食べこぼし、飲み物でむせるなどの口周りのトラブルをオーラル・フレイルといいます。日本歯科医師会は、こうした現象は高齢者の体が弱まっていく最も早いサインだと指摘。実際に東京大高齢社会総合研究機構の飯島勝矢准教授(老年医学)らのグループが、千葉県柏市の協力を得、市内65歳以上の高齢者1,900人余りで、口腔や全身の健康状態、食生活、生活の質など224項目を3年間にわたって調査した結果証明されている様です。気を付けたいのが、「固いものが食べにくい」「液体でむせる」「口が渇く」の3つだそうで、特に奥歯でしっかり噛めているかが重要との事。

## 食べ物豆知識 116回グルタミン酸①

体重が普通以下であれば、食事でグルタミン酸を多く摂ると大腸がんの予防に役立つ可能性があるとして、オランダのエラスムスメディカルセンターのギルソン・G・ビアナ・ヴェローゾ医師らが発表。55歳以上の男女5362人を1990年から追跡調査し、食事で摂るグルタミン酸の量と大腸がんの発症との関連の検討によるもので、期間中242人が大腸がんを発症。調査登録時の総タンパク質摂取量に占めるグルタミン酸の割合が1%増加するごとに大腸がんの発症リスクが22%低下したそうです。

## まじお正秀のフィルム

東京都の舛添知事の豪華出張や公私混同のお金の使い方が大問題に。パジャマや下着、子どもの散髪代、はては金魚や猫のエサ代はセコすぎます。5000万円の献金問題で辞職した猪瀬知事よりもタチが悪く即刻辞任のはず。舛添氏を推薦した自民党や公明党は、今辞められると参議院選挙で自分たちに跳ね返り、4年後の東京オリンピックの時に知事選になることもあって静観の姿勢でした。しかし、今はあまりのひどさに辞任を迫らざるを得なくなっています。彼は知事の時だけでなく、自民党を割って立ち上げた「新党改革」の時には政党助成金をもらい、そのお金は舛添氏の政治資金管理団体に寄付という形で流れていました。普通個人で旅行するときに一泊20万円の部屋に泊まるでしょうか。自分の腹が傷まない税金だからこそ、湯水のように使ったということですね。ここにも政党助成金が政党だけでなく、政治家の金銭感覚まで狂わせるということを証明していますね。